

ノートテイク利用者インタビュー 2019  
(商学部2年生 男子学生)

Q.1 高校と大学の授業の大きな違いは？

A.1 高校：

- ①先生が板書することが多い。聞こえなくとも視覚情報が入る。
- ②クラス制のため一般的には教室が狭い。先生との物理的距離が近く、口の動きがハッキリ見えるため、リップリーディングがしやすい。
- ③学習指導要領により、ほぼ教科書どおりに授業が進む。授業中に聞き取れなくても、復習で埋め合わせができる。
- ④一般的には、クラス制のため生徒の私語がほぼ無い。静かなので、先生の声聞き取りやすい。

大学：

- ①ほとんどの先生が板書をせず、口頭で授業を進める。
- ②-1 大教室の場合、演台が広いので先生との物理的距離が生まれる。リップリーディングが難しくなる。
- ②-2 専門用語が多くなるため、リップリーディングが難しくなる。知らないコトバは、そもそもリップリーディングが出来ない。
- ③先生によっては教科書や参考書を使わない場合がある。そのため、授業の内容が聞き取れないと、授業の進捗状況そのものが分からないことがある。その場合、予習はもちろん復習をすることも出来ない。
- ④友達との仲良し履修が多いため、教室内で私語が多く見受けられる。その場合、先生の声が聞こえ難くなる。

Q.2 中大への進学を選んだ理由は？

A.2 ノートテイクがあることと、FLP という学部横断型のプログラムがあることが決め手の1つとなりました。

Q.3 中大ノートテイクを知ったきっかけは？

A.3 中央大学のホームページで知りました。

Q.4 入学前のノートテイクに対するイメージは？

A.4 全ての授業にノートテイクを付けてくださる（しかも2人！）とは思いませんでした。

Q.5 実際にノートテイクのある授業を受けてみた感想は？

A.5 ノートテイクのおかげで、授業を楽しく受けることができています。自習に終始するだけでは味気が無く、モチベーションも上がらないと思います。

リアルタイムで授業を受けることに意義があるのだと感じています。

Q.6 ノートテイクのある場合とない場合の授業の理解度はどのくらい違う？

A.6 先生の授業形態によるので一概には言えませんが、ノートテイク無しの場合の理解度を約30%とすると、有りの場合の理解度は約70%まで(※)上がっているように感じます。

聴覚障がいと一口に言っても、聴力レベルの度合いは人それぞれですし、人それぞれに合った情報保障のカタチがあると思います。(手話通訳、ノートテイク、補聴器用ピンマイク等)

さまざまな情報保障のカタチがある中、ノートテイクには一種の普遍性があると感じています。

というのも、聴覚障がい者の全員が手話ができるわけではありませんし、全員が補聴器を装着しているわけでもありません。

その点、ノートテイクには普遍性があり、ろう者にとっても、難聴者にとっても情報保障となり得ます。

(※)仕方がないことですが、先生が『喋る』スピードに、テイカーさんの『書く』スピードが追いつくわけではなく、そういった意味では、全ての情報が網羅されているわけではありません。

ですが、理解出来なかった箇所(=テイクしきれなかった箇所)は、前後の流れである程度把握することが出来ます。

授業後に埋め合わせをする形で復習をすれば、理解度は100%近くになると思います。

『分からない箇所』が『分かる』ことも、情報保障の1つです。

Q.7 ノートテイクのある授業を受けて、大変だと感じたことや苦労したことは？

A.7 大変だと感じたことや、苦労したことは特にありません。

ノートテイカーさんが一生懸命テイクしてくれている手前、眠くてウトウトなんてしてられないので、ある意味良い緊張感が生まれますよ！！(笑)

Q.8 ノートテイクのある授業を受けて、良かったと感じたことや、嬉しかったことは？

A.8 ノートテイクがあると、ほどよい緊張感と安心感がある中で授業を受けることが出来ます。矛盾するかもしれませんが、学習環境としては最高です。

そして、授業で取り残されることも無くなり、何よりモチベーションがとても上がります。

ノートテイク事務局の方々、ノートテイカーの方々、そして理解を示してくれる中央大学の先生方に、定期試験で満点で応えること(免許皆伝のイメージかな?)が最大の恩返しだと勝手に思っています！

Q.9 中大ノートテイク(テイカー)の特徴や魅力、良いことは？

A.9 同じ中大生がボランティアとしてノートテイクをしてくれることです。

学部もさまざまなので、交流の幅も広がります。

『中大生による中大生のためのボランティア』という、中央大学ならではの特徴がとても素敵だと思います。

Q.10 ノートテイクを通じて講義保障以外に得たことは？

Q.10 交流の幅が広がり、さまざまな学部の友人が出来ました。

総合大学ならではの、中央大学ならではの魅力です。

Q.11 中大受験を考えている聴覚障害をはじめとする、ノートテイクを必要とする受験生に向けてひとことお願いします。

A.11 中央大学をぜひ受験してください！！

主体性を持つことが出来れば、障がいの有無に関わらず、どんな人でも輝ける場がそこにはあります。

Q.12 テイカーさんにひとこと。

A.12 ノートテイクをいつもありがとうございます。

今年度より90分授業から100分授業となり、

集中力や体力の面からノートテイクはより大変になったと思います。

それでも多くの方がノートテイクを引き受けてくださり、本当に感謝しています。

ノートテイクのおかげで、授業に取り残されることもなく、何よりモチベーションがとても上がります。

また、テイカーさんとお喋りすることも楽しいので、どんどん話しかけてくれると嬉しいです！

これからもよろしくお願いします！！